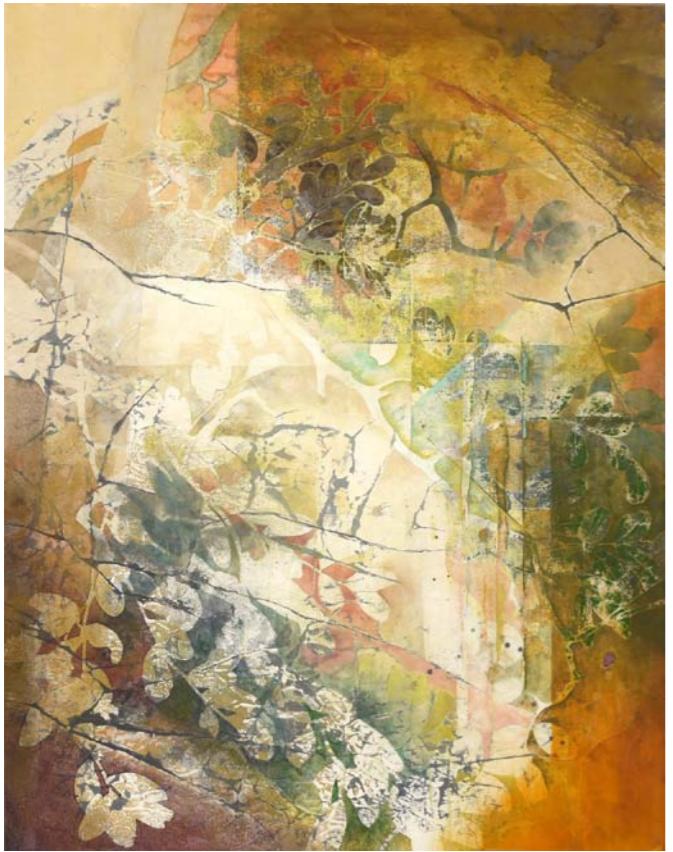


第9回

石州和紙に描いた 日本画展

石本正
池庄司淳
池田知嘉子
上野富二郎
内海福溥
雲丹亀利彦
奥村美佳
落合浩子
梶岡百江
川崎麻央
岸本裕子
桑野むつ子
坂内圭
庄田達生
多留裕二
谷保玲奈
田村紀美枝
中原麻貴
中村文子
西久松吉雄
西久松綾
藤本直司
牧野良美
宮川典子
吉川弘
吉村和起



池庄司淳 「土の風景 2019」

使用和紙：楮紙 一双（西田和紙工房）

命有るものはやがては滅する。
形有るものは朽ちて色も褪せ土と同化する。
普段目にする周りの風景やそれを目に
する人も…。
そんな思いを作品にしました。

【石州和紙についての感想】

紙の持つ風合いとその色味をできるだけ活かした表現ができないかと考えています。

裏彩色で紙を透した色の美しさをだせないかいろいろ試していますが、なかなか思うようにできません。

部分的には紙の地のままのところもあります。



上野富二郎 「竹叢」

使用和紙：白仙紙 二双（かわひら）

池田知嘉子 「奇跡」

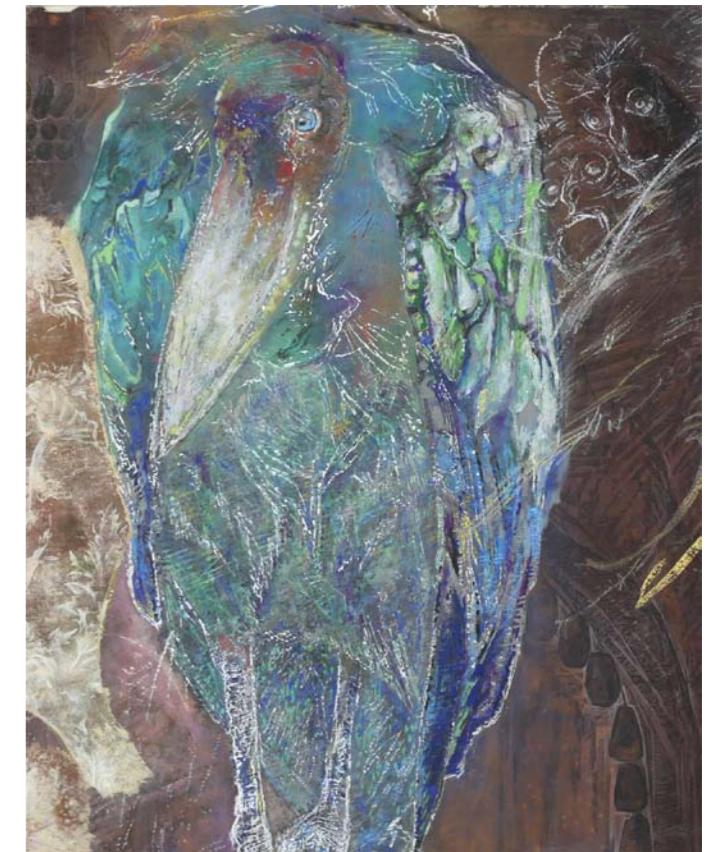
使用和紙：石正紙 二双特厚
(石州和紙久保田)



内海福溥 「鳥の歌」

使用和紙：石正紙 二双 (石州和紙久保田)

インド・エローラ石窟寺院での写生に中国
古代・殷・周時代の青銅容器を感じた。
オオハゲコウが醸し出す風貌にその気配を
託し描き出そうとした。





川崎麻央 「龍息」
使用和紙：石州和紙 鶴
(石州和紙久保田)

龍の頭部と息を描いています。勢いを重視し抽象的な表現になっていました。

【石州和紙についての感想】
滲み止め効かせる前に、和紙に絵の具を吸い込ませるように描きはじめ、その後滲み止めをし、岩絵の具で描写しました。発色も良く均一な表現ができました。



桑野むつ子 「心の中に」
使用和紙：石正紙 二双特厚 (石州和紙久保田)

心の奥深くにある理想のような聖域を青い色で表現しました。
沈思黙考の静かな境地です。

岸本裕子 「サガリバナ幻影」
使用和紙：楮紙 二双 (石州和紙久保田)

6月半ばから7月にかけて、南国では「サガリバナ」の最盛期、「沢藤」とも呼ばれるそうで、一夜限りの夢い花です。
夜明け前、西表島の民宿のおじさんに、小さな船を出してもらいました。芳香が漂い、辺りが明るくなるにつれて、川面に花が降りしきる幻想的な眺め、夢のような不思議な時間でした。



【石州和紙についての感想】
和紙独特の色合い、風合いがまことに美しく、ドーサを引くことも躊躇します。先ず、ごく薄いドーサを引きました。ドーサの抜けた箇所も気にせずに、色を置きましたが、思った以上に色は乗りました。上の層の紙が少しもけました。人物の部分に、少し濃い目のドーサを重ねました。描きにくいという感覚はなくて、発色がきれいな気がします。ドーサを工夫することで、新しい表現が可能になるかなと思いました。

坂内圭 「Promesse」
使用和紙：塵入り和紙 (西田和紙工房)



日々生活していく中で、約束はしたけれど守れなかった約束は皆さん多々あるかと思います。その守れなかった約束の中でも、心の片隅に引っ掛かり記憶から消えない約束もあるのではないかでしょうか？

何気ない些細な約束であっても、心の片隅に引っかかっていつまでも残るのなら、いっそ果たしてしまおうかと、今回不慣れな人物を描いてみました。
約束の内容は「人物を描いてみる」という随分昔の何気ない約束でした。

反省点が多い絵になりました、展示後加筆を続けたいと考えています。

【石州和紙についての感想】
以前に頂戴しました薄口和紙を使用させて頂きましたが、どちらの和紙だったかを失念してしまいました。(第6回展と同じだったかと思います。)
和紙を貼る前に、石粘土に着色と箔押しを行いました。薄口和紙の透明度をもっと活かせれば良かったかと思います。



庄田達生 「麦秋」

使用和紙：石正紙 二双特厚
(石州和紙久保田)

高校生の時、原節子主演の映画「麦秋」、白黒でしたが、風に吹かれる麦畠が映り、よく憶えています。また石本正先生の晩年、お元気な頃、よく古いヨーロッパ映画一緒に観ました。その一作品「未完成交響曲」、これはフィクションですが、F・シューベルトの半生涯、全編に彼の美しい名曲が流れています。ラスト、教え子でもあったエスティルハーディー家伯爵令嬢との失恋、失意の中、彼が田舎道を歩いてると小さなマリア像の祠があり、目の前にはハンガリー大平原の実りの麦畠が映り、「アベ・マリア」が流れる中、カメラは空を映し Fin。私の心にはあの空の中に先生がおられます。

【石州和紙についての感想】

今回も、素適な石州和紙で作品を描ける機会をいただき、石正美術館、また、和紙を作ってくださった方には心より感謝いたします。いつも 50 号分の大きさの紙を送って下さるので今回はその大きさで描きました。紙の感じは、絵の具が自然に紙にのり、とても素適です。りっぱな紙なのに作品が追いついていません。和紙の製造作業、TV 等で観ますが、まったくの手作業でご苦労様です。有難うございました。



【石州和紙についての感想】

厚みと弾力がある和紙

水の含みが多く、また雲母によって表面上にすでに一層絵の具をかけたように後から乗せる絵の具の滲みが奥深く滑らかだと感じた。またそれによって絵の具の伸びが滑らかで筆が進む。

しかし、荒い岩絵の具を乗せるにはドーサが不可欠でその加減が難しく、私にはその紙本来が持つ美しさを技量不足で充分に活かしきれなかった。

もっとこの紙を活かした色々な表現の可能性を感じる。

強度や発色も良く、出来上がりが他の和紙より一段落ち着いた感じを受け、とても描きやすい紙でした。



多留裕二 「立葵」

使用和紙：石州特種判 - 131 三双
(西田製紙所)

この「立葵」は昨年のスケッチが元になっていますが、今年も 6 月に入つてすぐに、とりどりに色の異なる花が咲き始めました。

梅雨空の中、この花の持つ華やいだ雰囲気が出せればと思ったのですが…。

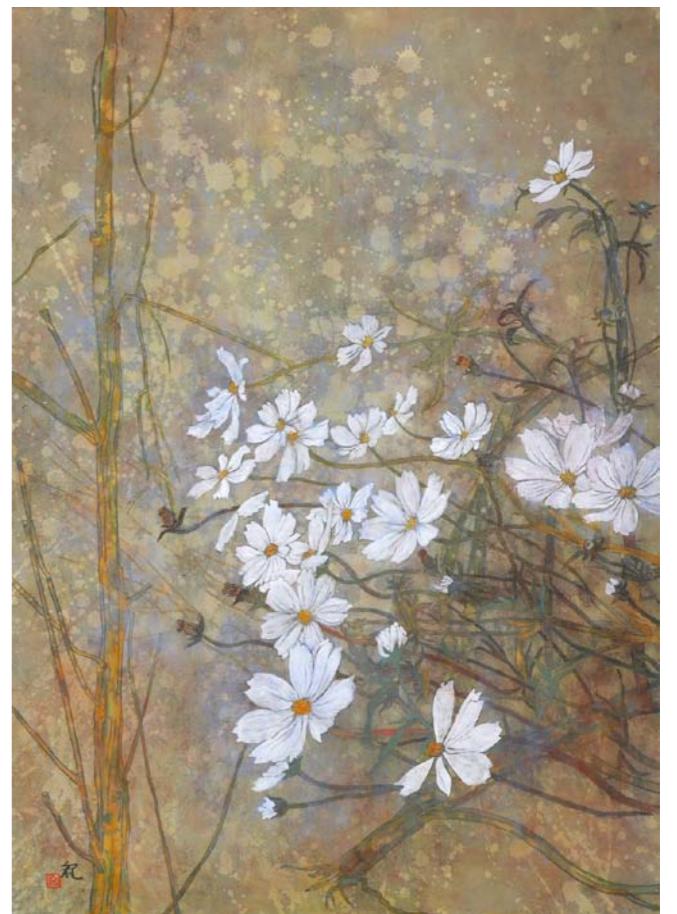
【石州和紙についての感想】

初めて 50 号サイズで使用しました。下地にかなり粗い絵具を濃い膠で使用しましたが、絵具の付きも良く、強度は申し分ありませんでした。有難うございました。

田村紀美枝 「時」

使用和紙：石正紙 一双特厚 (石州和紙久保田)

30 年余り前でしょうか、日本画を習い始めた頃、広島のデパートでの久保田工房様の展示会で沢山の和紙と出合いました。その当時は雲柳入りの薄手の和紙に引かれ、下仕事をした上にそれを重ねて草花を描いていました。今度はこの石正紙（一双）を使わせていただいて、この手ざわりとしなやかさが生かされた、コスモスたちに仕上げたいと願っています。



【石州和紙についての感想】

今年初めての石正紙を使わせていただきます。どんな下仕事から始めようかと、少し緊張、ワクワク、ドキドキで紙と向き合いました。私にとっては欠かせない墨とにかくわを交互に使い、まだ少しにじむ程度の画面に、ごくわずかの金泥を入れ、全体にドーサを引きました。静かだけれど明るい秋の気配を描けたらと思っていました。

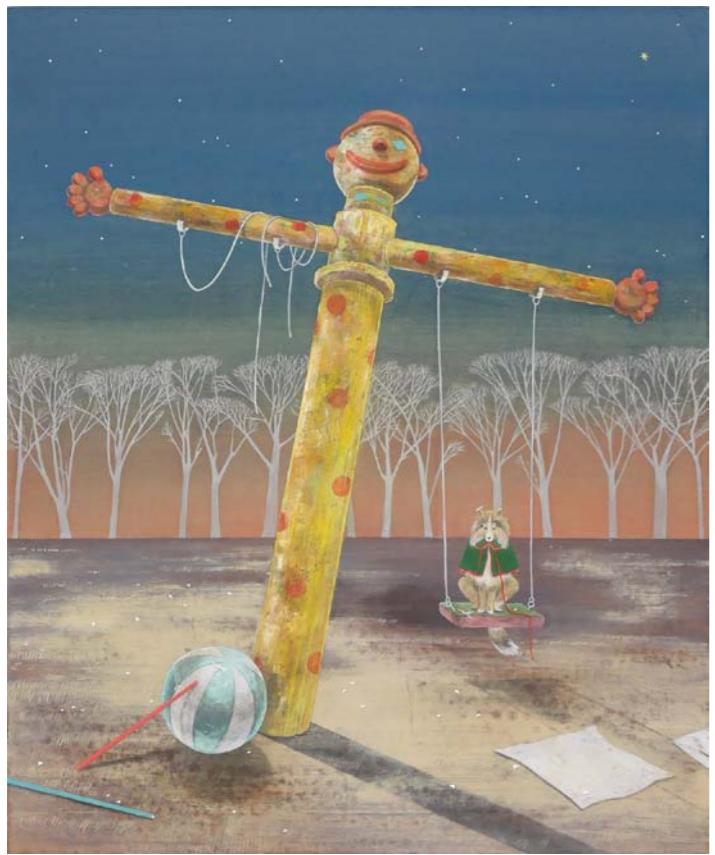
谷保玲奈 「夏の蝶」

使用和紙：石正紙 二双特厚
(石州和紙久保田)

以前浜田市に遊びに行かせて頂いたことを思い出しながら、夏の展示ということを考え、蝶を思い出した。暑い中でも蝶は飛ぶ。

蝶は花に色がなければそこに蜜があることを知らず、それを吸うことはない。派手な造花でもそこに甘いものがあればそれは本物の花でなくてもいい。

それを見た当たりにした私は少しの怖さと驚きを感じた。



中原麻貴 「夜の公園」

使用和紙：石正紙 二双特厚（石州和紙久保田）

近所の公園を散歩していく、心に浮かんだ小さな物語を描きました。

【石州和紙についての感想】

いつも同じ紙を選んでいます。自分の表現と相性がいい紙です。

西久松吉雄 「臥龍杉」

使用和紙：草木染楮紙 二双（西田和紙工房）



近江の日吉大社は、日吉・日枝・山王神社の総本宮である。

日吉大社に三橋という石橋があり、大宮橋、走井橋、二宮橋のひとつ走井橋に横臥する杉の巨樹に魅せられました。

【石州和紙についての感想】

紙の厚みや色、肌ざわり感は心地よく、いかに紙の地を生かした表現描写が出来るかと、常に模索しています。

中村文子 「閑日」

使用和紙：人天紙 二双特厚

（漉ドーサ）（西田和紙工房）

何かしら和みを感じる田舎の景色が好きで、時々散策に出掛けます。

何度か行った村里で、新たな魅力を見つけると、又新鮮な気持ちになります。

静けさの中で、心地よい時を過ごせました。

【石州和紙についての感想】

貴重な石州和紙に描かせていただき、いつも感謝しています。紙のはしでドーサの効き具合を試すと、弱く効いていると思い、そのまま紙を貼り



西久松綾 「琵琶湖群遊図」

使用和紙：石州特種判 - 131

二双特厚（西田製紙所）

幼い日、魚図鑑が絵本がわりでした。子供の頃から現在に至るまで、川の生物に関心が高く自宅でも多くの川魚を飼育、観察しています。水は「生命の源」です。その水の中で今、生態系の崩壊が進んでいます。豊かな生態系は豊かな風土を作り、豊かな文化を生み出してきました。その根本が足元から、近所の小川から崩れつつあることに人は気づこうとしません。水面というフィルターが水中の出来事を隠しているからかもしれません。生命の輝きと、本来あるべき姿について何か感じていただければ幸いです。



【石州和紙についての感想】

今回が初出展の為、石州和紙の使用感に関しては全く分からぬ状態で描くこととなりました。墨を紙面にのせてみると、とても伸びやかで、紙元々の温かみある色合いも大変好感を持ちました。ありがとうございました。

ました。貼っている時、ドーサがきいていない箇所がありました。ドーサの効き具合の差で、紙の表情に変化があり、面白いと思いました。この紙の特色を活かして描けたらと思いましたが、貼った後、うすめのドーサをひきました。ドーサはしっかりと効き、絵の具ののりもよく、描き心地はなめらかでした。